

■ 2020年3月期上期 決算説明会 質疑応答要旨

業績予想

Q：今後スポットがもう一段落ち込んだ場合、費用抑制の余地など残っているか？

- ▶ スポット収入などかなり厳しい前提で業績予想の数字は組み立てており、これに向けて下期残りの4ヶ月ほどを乗り切っていく方針だ。
- ▶ 9月に業績対策本部を立ち上げ、いろいろな方策を検討・実施している。その成果も徐々に出ていることから、利益予想について据え置いている。
- ▶ 政策保有株の見直しなども含め、経常利益以下の段階利益にプラスの影響を与える施策についても、いろいろと検討しているところだ。

インターネット (オリジナルコンテンツ・AbemaTV)

Q：配信サイト向けのコンテンツについて、どのようなスタンスで制作していくのか？

- ▶ 金曜・土曜のナイトドラマ枠を、配信サイト向けコンテンツの1つの供給源と考えている。おっさんずラブや、時効警察など若年層の支持を受けている。
- ▶ AbemaTV向けのものも含め、人気ドラマのスピノフドラマといったオリジナルコンテンツなどを制作していこうと考えている。

Q：Abemaビデオの展開も進んでいる。AbemaTVの収益貢献という面でオリジナルコンテンツの制作など、何か変化は出ていないか？

- ▶ AbemaTVと地上波の連動・連携を強化し、コンテンツ強化によるユーザー数の増加をまず目指している。
- ▶ 動画配信ではコンテンツが大切だが、オリジナルコンテンツに制作費を投下した分、そのまま売上につながるわけではなく、バランスを見ながら対応しているところだ。

視聴率

Q：来年4月から全国で個人視聴率が計測できるようになるが、具体的な影響はあるか？

- ▶ サンプル数が増えることも含め、アドバイザー・広告会社に対して、より視聴実態に近いデータを提供することができるようになり期待している。
- ▶ 具体的にどうなるのかについては検討中の部分もあるが、これを活用すべく丁寧に対応しているところだ。

以上